

2019年3月期 決算説明会

2019年6月6日（木）
株式会社パイオラックス
（コード：5988）
代表取締役社長 島津幸彦

目 次

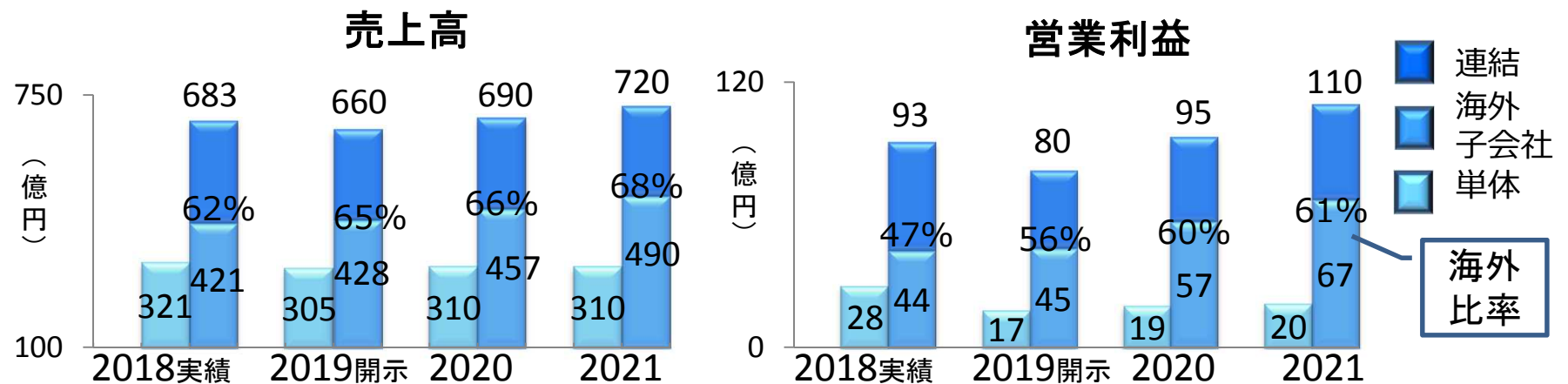
1. 中期経営計画（2019～2021年度）
2. 今後の事業展開
 - 1. 5大リスク対策
 - 2. 海外拠点の取り組み
 - 3. その他のトピックス
3. 医療機器事業の現況と展望

1. 中期経営計画

2019～2021年度

中期経営計画 経営指標

2021年度 経営指標	
連結売上高	720億円
内、海外拠点	490億円 海外比率：68%
連結営業利益	110億円 利益率：15.3%
内、海外拠点	67億円 利益率：13.7%



	2018実績	2019開示	2020	2021	伸び率 (21/18)	為替調整後 (参考)
売上高	683	660	690	720	+5.4%	+1.1%
営業利益	93	80	95	110	+18.3%	+0.9%
営業利益率	13.6%	12.1%	13.8%	15.3%	-	-

* 連結仕訳(内部取引)が内数にある * 1US\$=105円

資本政策

ROE

2021年度目標：10%以上

- 今計画で目標値を見直し。
- 目標を10%以上とし、引き続きROE向上への取り組みを継続。

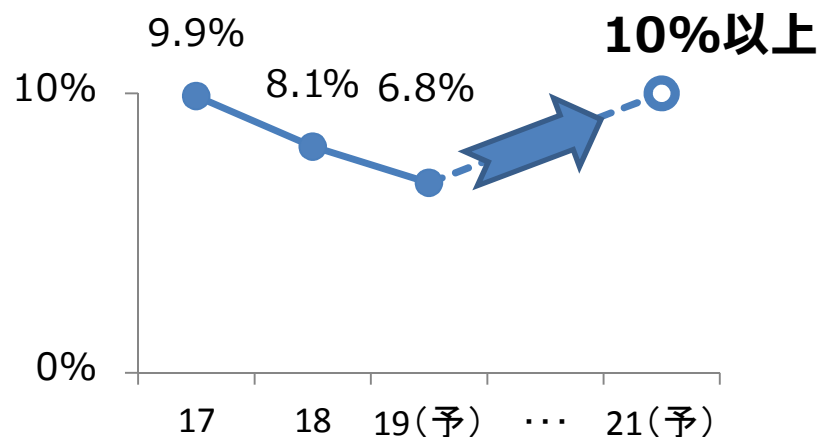
株主還元方針

連結配当性向

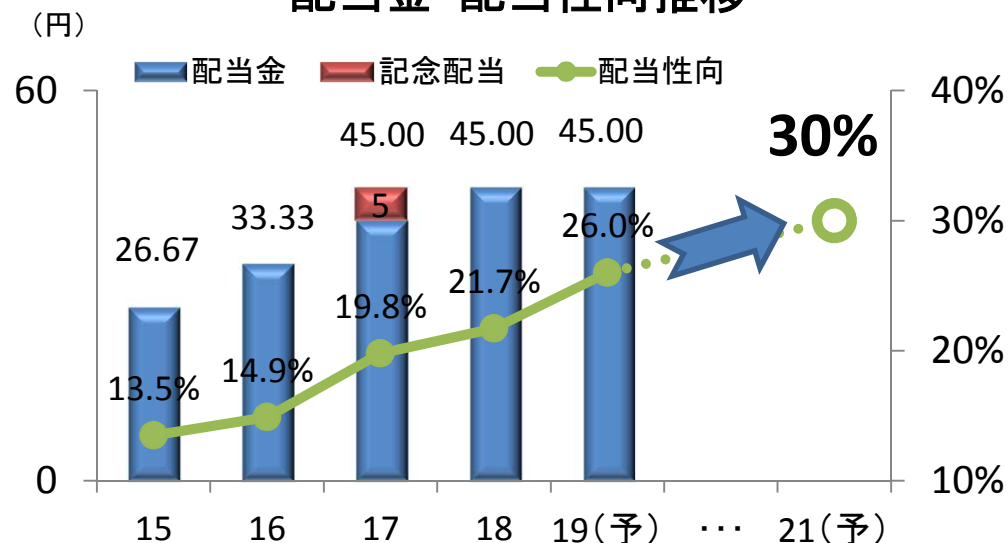
2021年度目標：30%

- 前回中計目標（2020年度：25%）は19年度に達成見込み。新たな目標を設定。
- 利益成長に伴う安定的な配当を実施。

ROE推移



配当金・配当性向推移

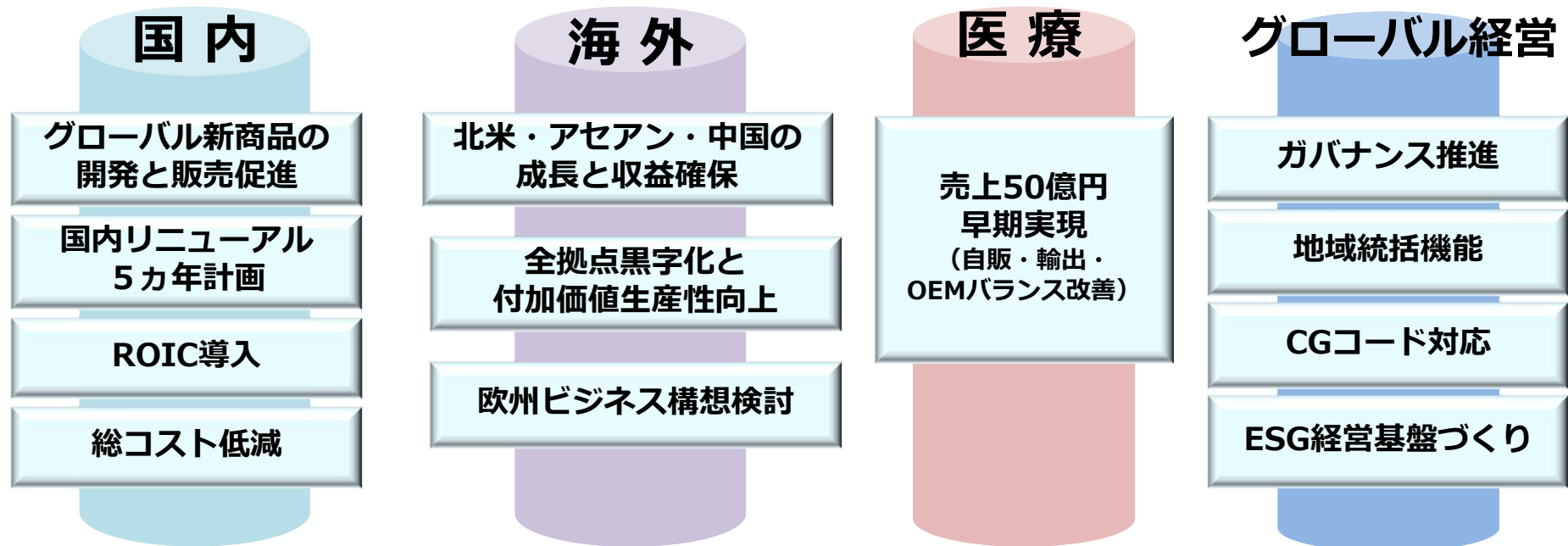


(注) 配当は、2017.4.1を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を3株に分割）後の値に調整しております。

中期経営計画

計画の前提

- 世界経済はFy20まで微減速
- Fy19は米国経済が底支えも中国・欧州は減退
- 世界自動車生産台数 Fy19：9,500万台 ⇒ Fy21：1億台
- 想定リスク：米中貿易摩擦/Brexit/材料費高騰/労務費アップ/日産減産



中期経営計画 要約③

多角化推進戦略の目指す指標

地域

北米／アセアン／中国／欧州 = 3:3:3:1

商品

①成長戦略商品を海外OEM拡販につなげる

成長戦略商品 : 成熟締結商品 3:7 ⇒ 4:6へ
(燃料系・開閉機構部品) (ファスナー・駆動系・ハーネス部品)

②将来商品群(環境対応部品、自動運転、安全対応部品)の構築

顧客

海外OEM向け販売比率 20%目標

事業

医療事業構成比率 6%⇒10%目標

中期経営計画 設備投資・減価償却

成長持続に向けた設備投資

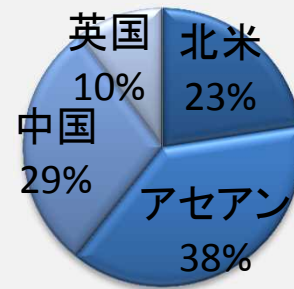
19年度主な投資計画

【海外】

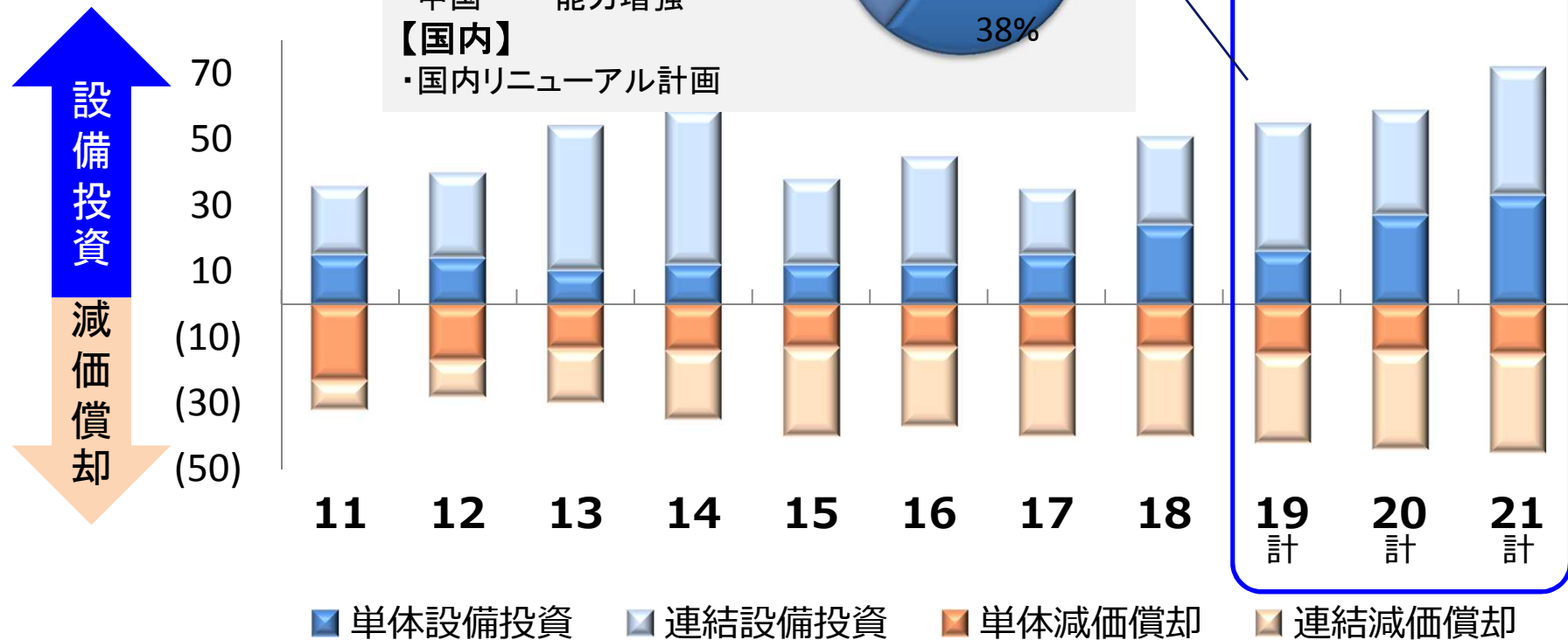
- ・米国 隣接土地工場購入
- ・米国 自動化など工場整備
- ・アセアン 能力増強
- ・中国 能力増強

【国内】

- ・国内リニューアル計画



単位：億円

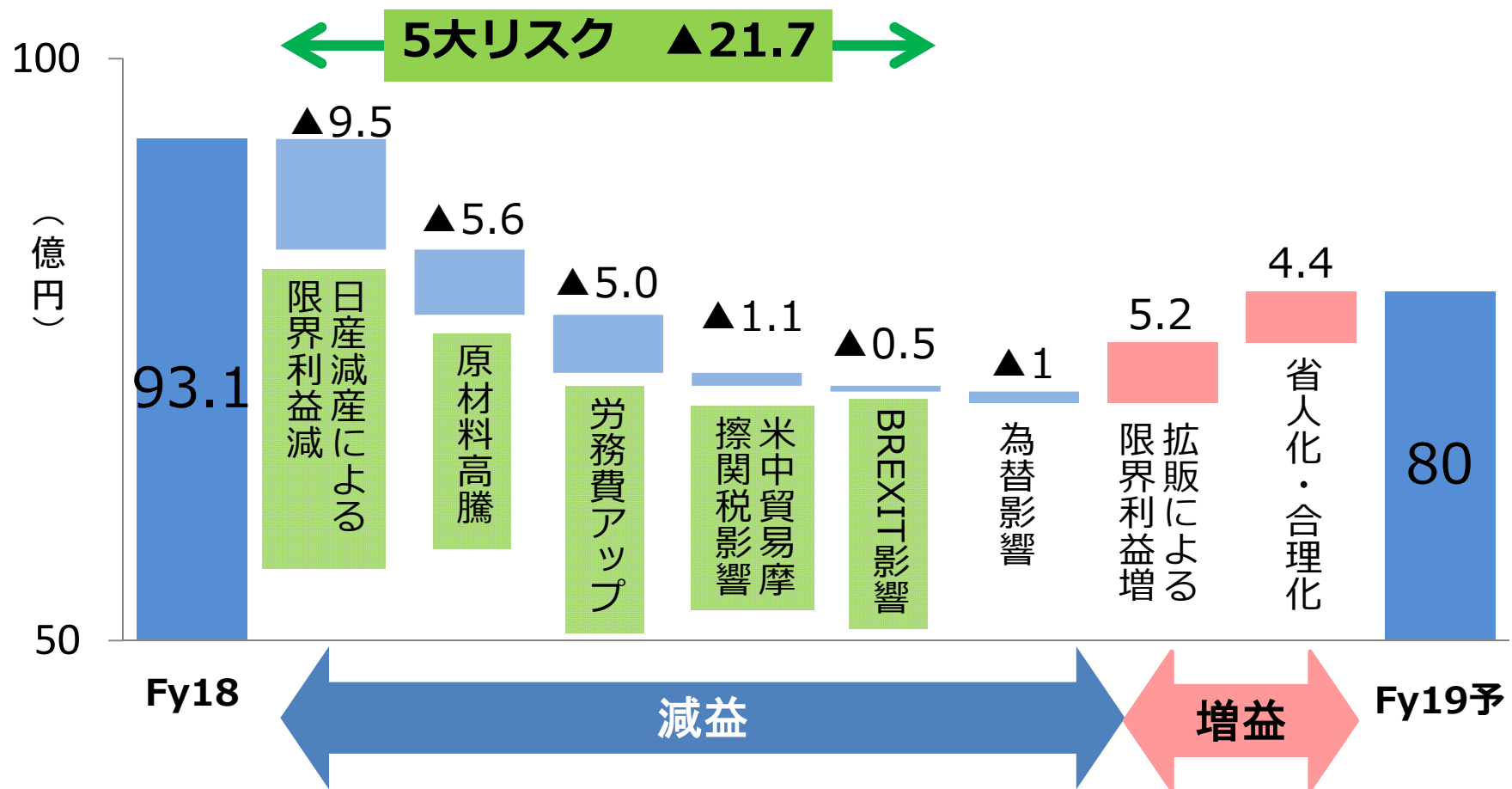


2. 今後の事業展開

－ 1. 5大リスク対策

営業利益増減分析（予測）

当社を取り巻く5大リスクの影響予測

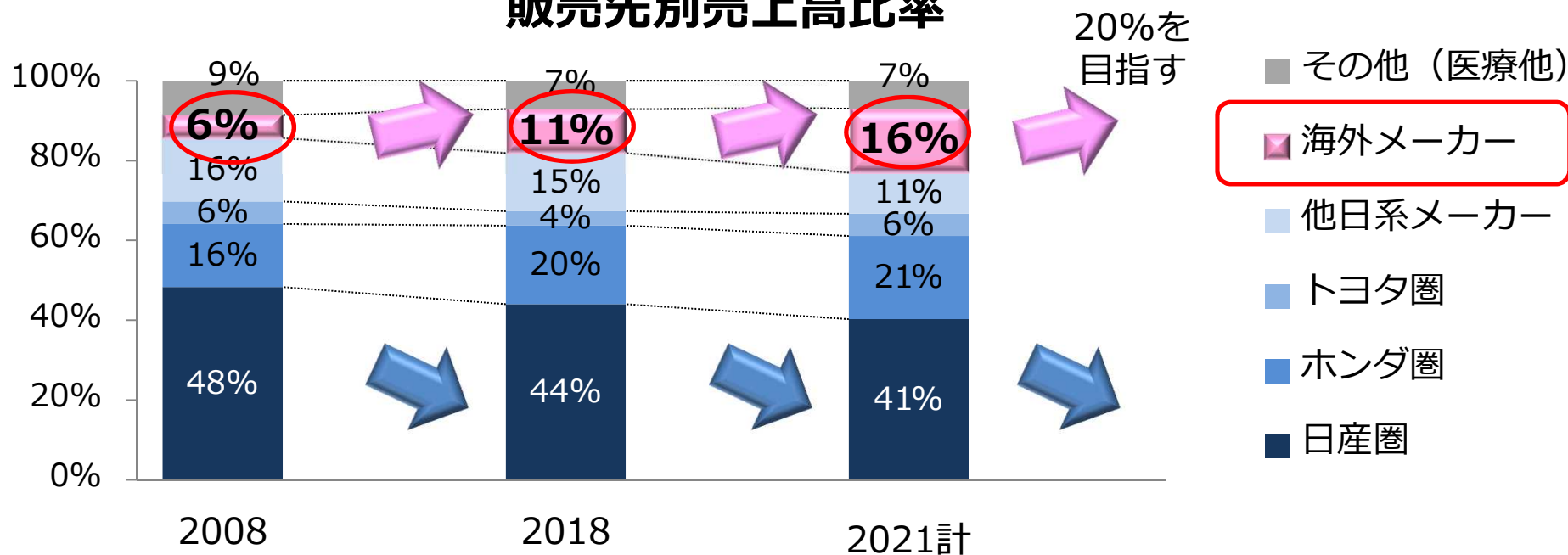


① 日産減産への対策

取引先の多角化推進

- ◆ 日産圏売上は増やしなから、依存度を下げる。
- ◆ **海外メーカー**向け拡販拡大。
- ◆ ホンダ・トヨタ向けグローバル拡販の展開。

販売先別売上高比率



②原材料費高騰への対策

原材料費高騰の当社への影響額予測 対18年度 約△5.6億円

対策① 材料代替品検討

- 高騰著しいPA66に代わる新材料への切り替え促進
- 海外廉価材の発掘

対策② 売価への反映

対策③ グローバル購買による最適価格での材料購入

③ 労務費高騰への対策

自動化・省人化への取り組み

- 労務費高騰影響額予測 対18年度 約△5.0億円
- 自動化への取り組みを加速し、省人化を図る。
- 2019年度自動化省人化計画

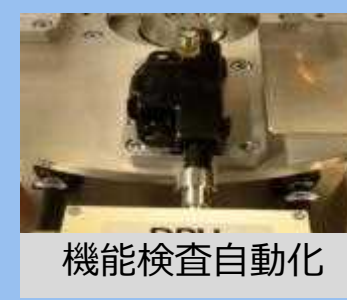
	アイテム件数	設備投資額	省人数
全 体	121件	700百万円	164人
国内	22件	270百万円	12人
海外	99件	430百万円	152人

地域別省人数

地 域	省人数
北 米	53人
中 国	61人
アジア	33人
欧 州	5人

- 自動化省人化による合理化予測 Fy19：1.5億円、Fy20：6億円
- 取り組み事例（米国拠点：開閉機構部品）

構成部品が多く、工程数が多い ⇒ 自動組立装置の導入 省人化△9名

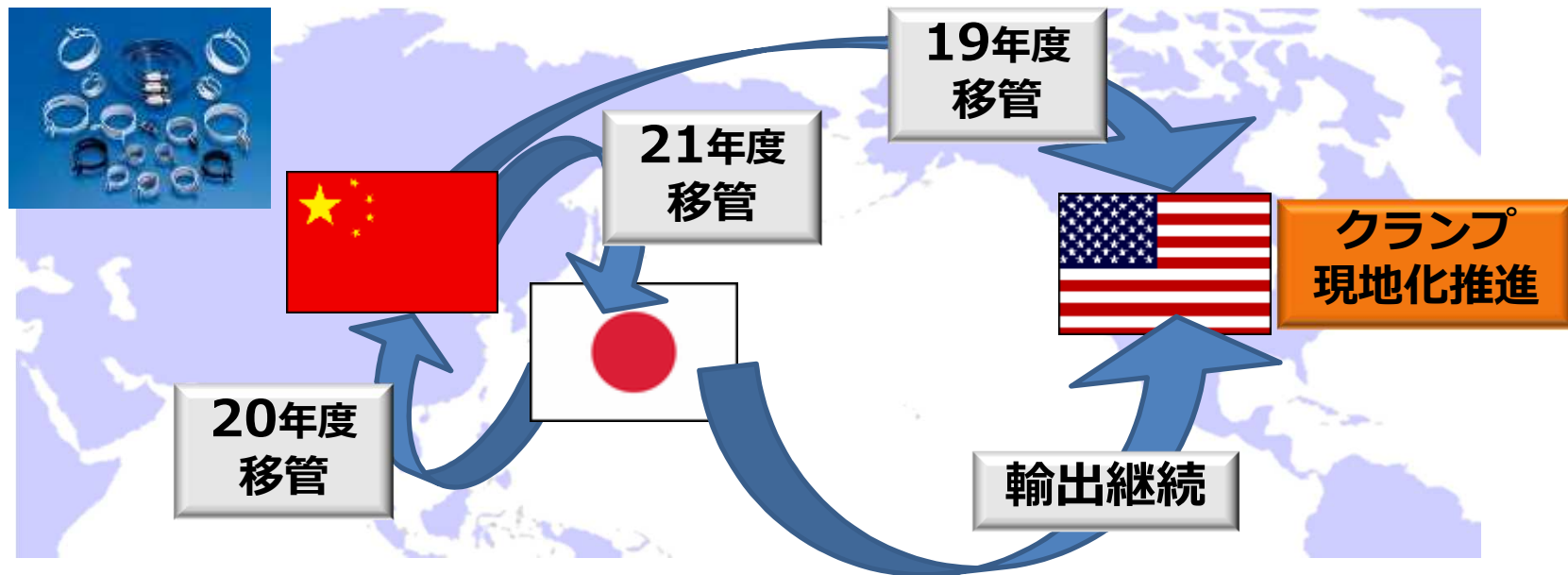


④米中貿易摩擦への対策

米国／中国／日本のクランプ部品生産再配置

- 米中貿易摩擦影響額予測 対18年度 △1.1億円
- 関税対策：クランプ部品生産再配置
19年4月 日本・米国・中国3拠点プロジェクト立上げ
19年度米国拠点でのクランプ現地化推進

クランプ部品生産再配置計画



⑤ BREXITへの対策

英国拠点の取り組み

- 英国拠点売上の40%はヨーロッパ大陸向け。
- 合意なき離脱に備え、臨時在庫の保管用倉庫をオランダに確保。
- 19年3月より臨時追加在庫の取入れを開始、4月より本格稼動。
- 欧州生産の一部を業務提携先“レイモン社（仏）”へ委託検討。



臨時倉庫（オランダ）

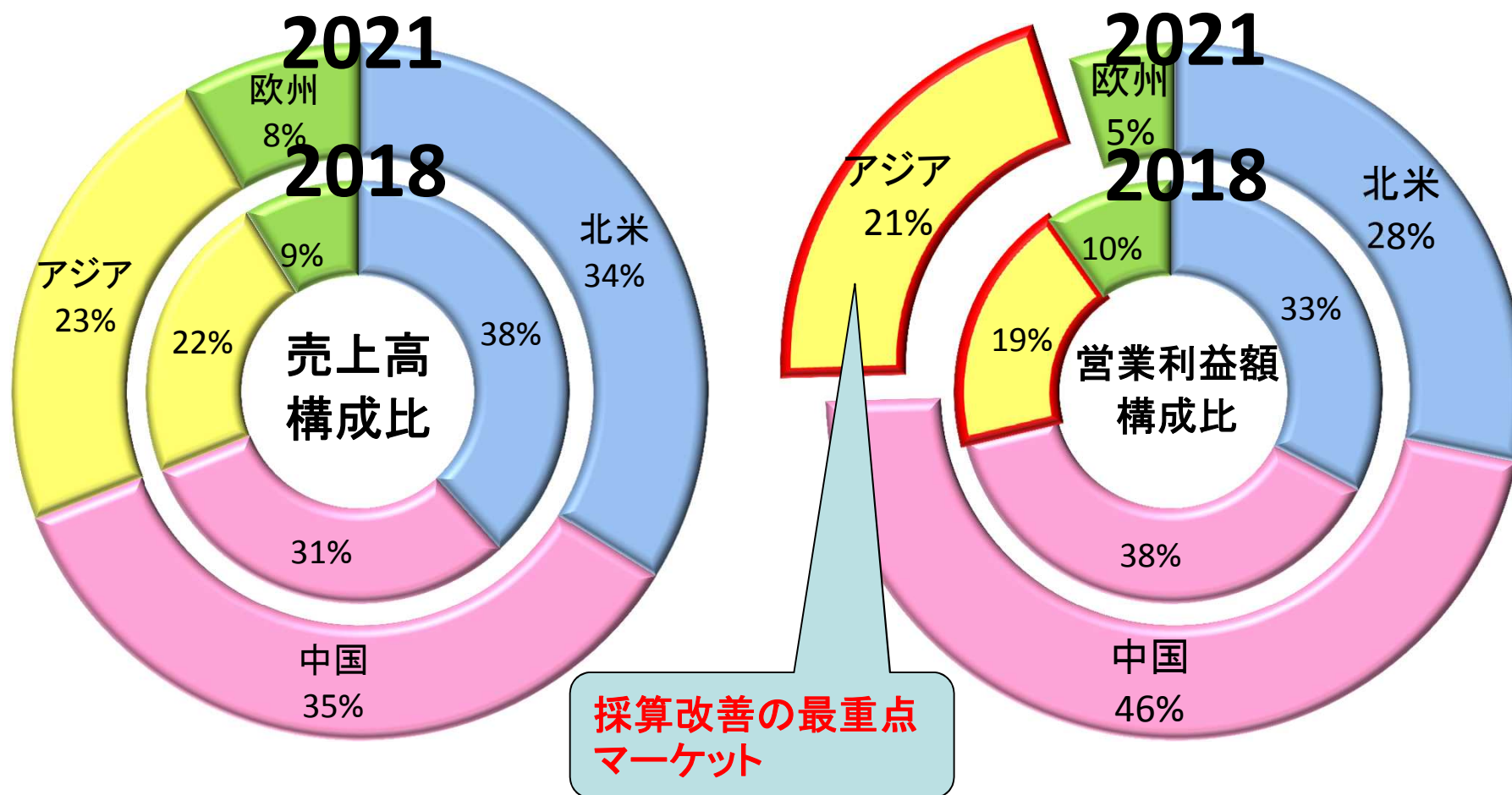
社名	レイモン社 A.RAYMOND et Cie SCS
所在地	フランス・グルノーブル市
主要取引先	Ford・VW・Renault・ PSA・GM他

2. 今後の事業展開

－ 2. 海外拠点の取り組み

海外地域別売上/営業利益比率

北米、中国、アジアでバランス良く稼ぐ体質を目指して

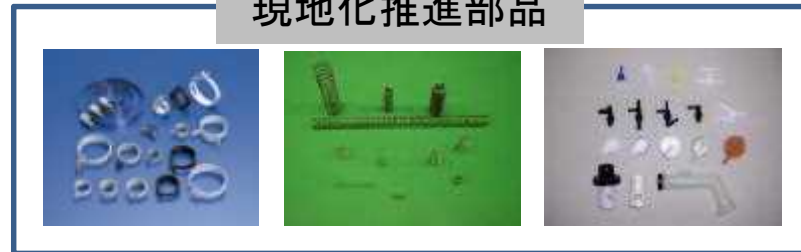


米国拠点の取り組み①

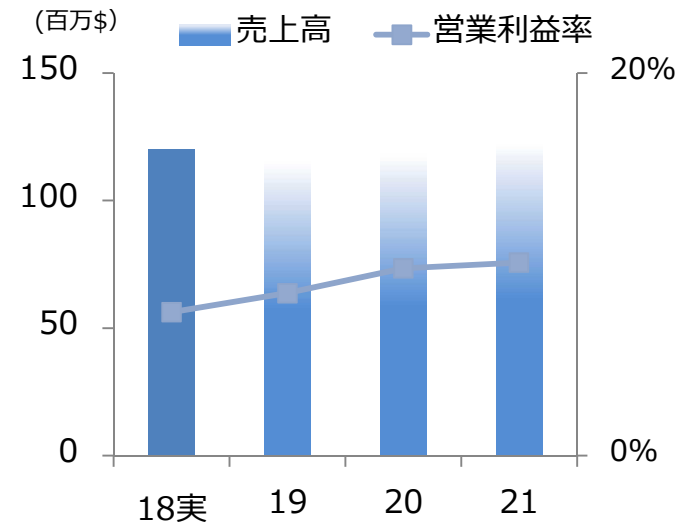
現地化推進と生産増強

- 中期経営計画目標 2021年度
売上高：18年度比5%、営業利益率：10%
- 現地化推進
ホースクランプ／金属ファスナー／燃料系部品
2019年1月：新熱処理炉（3号基）正式稼動
- 拡販活動
日産・ホンダ・GMに次ぐ第4の柱育成
米国Big3+現代向け拡販推進
- 自動化・省人化の強化
隣接建屋・土地購入により生産設備拡大

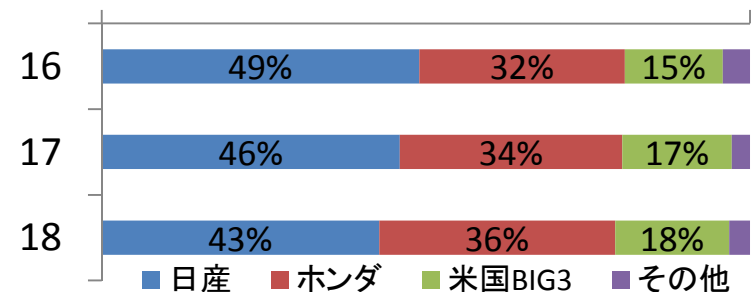
現地化推進部品



売上高・営業利益率



販売先別売上比率



米国拠点の取り組み②

米国拠点生産増強に伴う土地・建屋購入

- 労務費高騰への対策として、自動化促進を強化。
 - 関税対策として、ホースクランプ／金属ファスナー部品現地化を加速。
 - 米国Big3への売上拡大推進。
- ⇒拠点拡張により、生産能力の向上と生産拡大、効率化を目指す。

購入物件概要

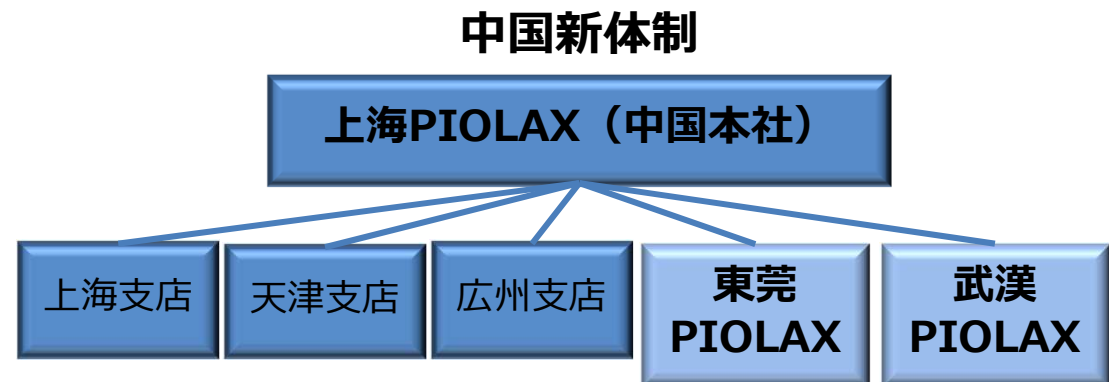
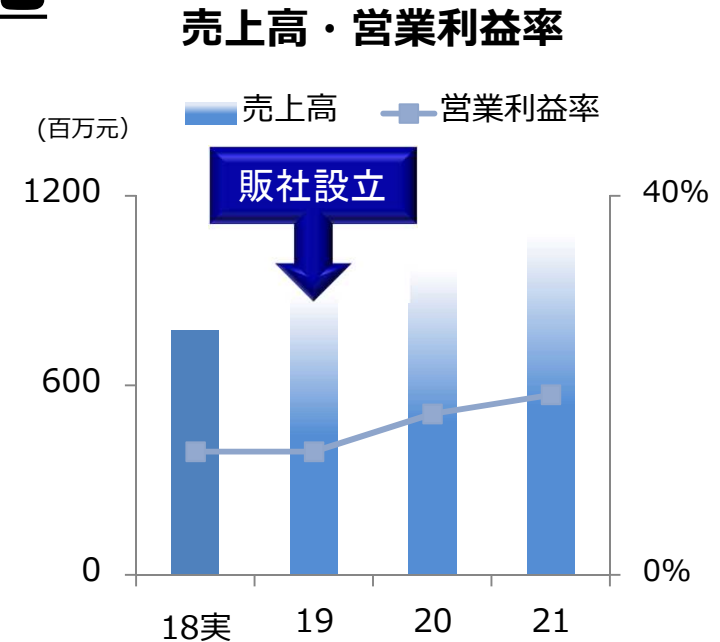
場所	米国拠点（ジョージア州）隣接地土地及び工場建屋の購入
広さ（土地）	12,710m ²
広さ（建屋）	2,851m ²
投資総額（含:改修費）	約3.3億円



中国拠点の取り組み①

販売体制強化

- 中期経営計画目標 2021年度
売上高：18年度比+30% 営業利益率：20%
- 販売体制の強化
2019年1月 新販社（上海PIOLAX）設立
- 拡販強化
欧・米・韓および中国OEM
- 中国環境規制に対応したビジネス展開
 - ・ 燃料系部品拡販推進
 - ・ 2K部品受注促進
- 中国新エネルギー車への対応
新規に口座獲得したEV会社
(シャホン・リパオなど) 拡販



中国拠点の取組み②

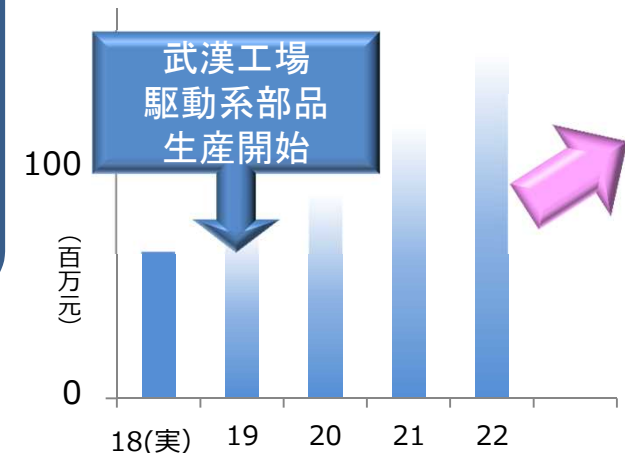
武漢パイオラックス設備増強

中国における駆動系部品需要の高まり

- 中国CAFC法（燃費規制）に対し、駆動効率のよいAT/CVTでの対応が進む。
- 特に中華系メーカーにおいて駆動系の対応が高まる。
- 中華系駆動メーカーに対し、国より資金/技術面でのサポートあり。

- 武漢パイオラックスにて駆動系部品生産に着手。
- 中国における駆動系部品の新規受注増加に対応。
- 東莞パイオラックス既存工場の生産スペース不足に対応。
- 新規部品受注の多くは内陸部メーカーのため、物流、品質、客先ニーズ対応面などの優位性を重視。
- 広さ：武漢工場空きスペース（800㎡）活用
- 投資総額：約4.3億円
- 生産開始：2020年1月予定

中国拠点 駆動系部品売上計画



駆動系部品

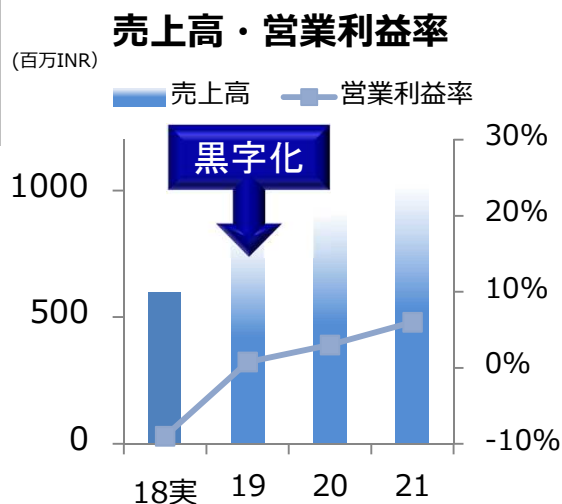
アジア拠点の取り組み

黒字化に向けた取り組み

インド拠点

- 中期経営計画目標 2021年度
売上高：18年度比約2倍、営業利益率：6%
- 拡販活動
マルチスズキ・現代・タタ・マヒンドラ・フォード
- 新規受注：インドの環境基準強化に対応

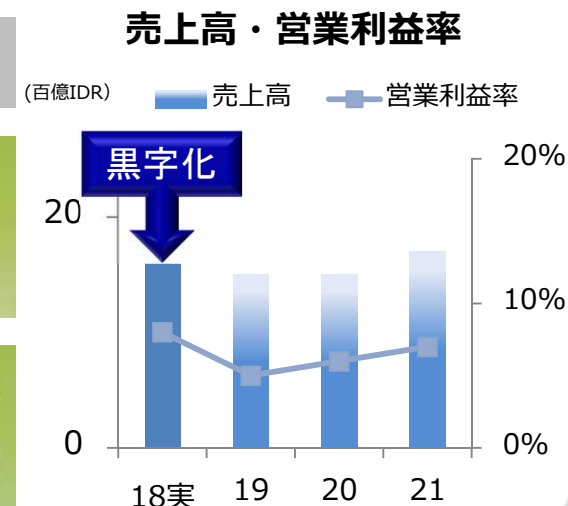
インド2輪車向け
ポンプモジュール
(環境規制対応部品)
受注拡大へ



インドネシア拠点

- 2018年度：2012年設立以来、初の**黒字計上**
- 中期経営計画目標 2021年度
売上高：18年度比+5%、営業利益率：7%
- 収益力向上に向けた取組み
 - ・自動化導入による省人化の推進
 - ・現調化体制の強化

現調化が進む
ハーネス部品



2. 今後の事業展開

– 3. その他のトピックス

ドイツOEM拡販①

フォルクスワーゲン（VW）から初の受注獲得

- メキシコ拠点において、グループ初のVW受注獲得。
- 2016年にメキシコ拠点に営業所を新設。
- コスト低減など現地顧客ニーズへの対応向上が奏功。
- 採用部品：ハーネスクリップ（電装ハーネスを車体に固定する部品）

ハーネスクリップ



採用車種

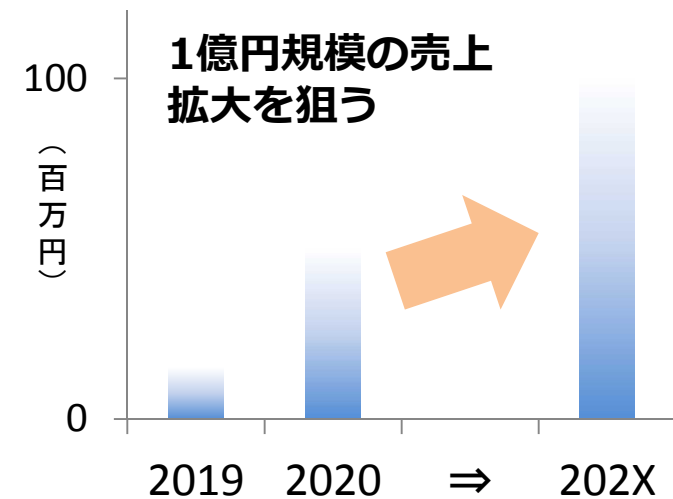


ティグアン



ジェッタ

売上計画



ドイツOEM拡販②

今後の拡販計画

ターゲットOEM

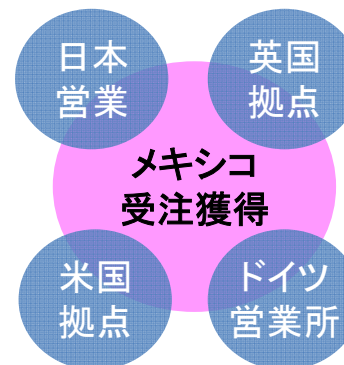
- 中国をはじめとするVWグループへの拡販展開。
- 英国拠点にて**ZAT社***協働でAudi受注獲得に向けて活動。
- その他、BMW、ベンツの受注獲得を狙う。

ターゲット製品

開閉機構部品を中心に、ファスナー部品など

グローバル拡販活動推進

- 海外拠点を最大限に活用した拡販推進
- グローバル供給体制の整備



【VW受注獲得】
5 拠点連携拡販活動

- ・ 営業連携
- ・ 設計支援
- ・ 業務支援

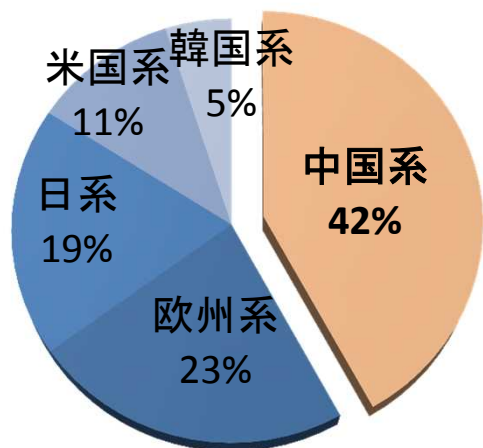
* ZAT社 (ドイツ)

2018年にドイツOEM拡販強化を図るため、代行営業契約を締結。

非日系自動車メーカー拡販①

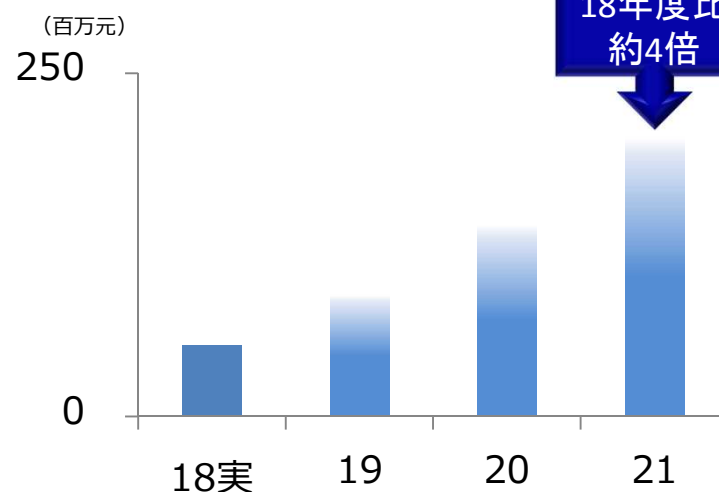
中国地場メーカー拡販

中国自動車市場国別シェア
2018



- 18年度：中国ローカル駆動系部品の販売増
- 19年度：引き続き駆動系客先向け売上拡大見込み
- 中華系売上比率up：7% (Fy18) ⇒12% (Fy19)
- 中国環境規制に対応した燃料系部品及び電動化関連商品の拡販を目指す

中国地場メーカー向け
売上計画



拡販ターゲット 開閉機構・燃料部品



非日系自動車メーカー拡販②

米国BIG 3 拡販

開閉機構部品を中心に受注拡大

● GM

標準ラッチのグローバル採用

● FORD

開閉機構部品中心に受注拡大

● FCA

RAMトラック新規受注獲得



新規受注部品搭載
FCA RAMトラック

現代起亜拡販

- 海外拠点（米国／メキシコ／中国／韓国／インド）を活用した拡販活動推進。
- 燃料系部品をターゲットとした拡販展開。



海外の環境規制強化に向けた製品開発

開発品：2K部品

- 欧米中で強まる「燃料透過規制」に対応した樹脂製燃料タンク向け、バルブを開発。
- 当社の成形技術を応用し、低透過性に優れた2つの材質を高接着力で成形。
- 日本・韓国にて生産、今後は米国・中国拠点でのグローバル生産拡大を図る。

2色成形して**燃料透過防止性能**を向上した部品。



①採用車種拡大

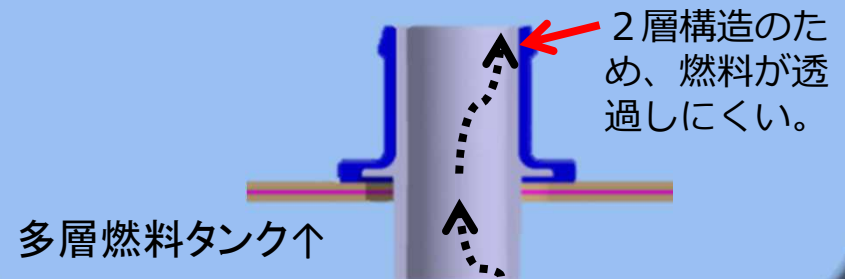
トヨタ車採用に続き、採用車種拡大

- トヨタ：プラド・サーフ（北米名4Runner）
- 現代起亜：PRIDE・FORTE・ACCENT
- マツダ：北米アクセラ
- RSM：SM6



RSM SM6

②当社成形技術



グローバル展開を目指す製品開発

開発品：スプリングクッション

- **「ゴム+金属+樹脂」**技術を駆使した開発
- 走行中のグローブボックスのガタ音を回避
- ボックスの操作性向上
- ゴム反発力によるボックス変形の低減を可能に



グローブボックス



スプリング
クッション

グローバル展開中

① 搭載車種拡大

- トヨタ：C-HR他
- ホンダ：CR-V（北米）
- SUBARU：インプレッサ他
- ダイハツ：ムーヴ他
- レクサス：UX
- スズキ：ジムニー他
- 三菱：デリカD:5

■ 日産より初受注（DAYZ）

② 高まる汎用性

- 衝撃吸収などの特性により、**センターコンソールボックス**でも採用（グローブボックス以外での活用拡大を狙う）
- 車内の静粛性要求の高まる**EV/HEV**への展開も目指す

③ 生産拡大

北米中心にグローバル展開を図る

次世代車への取り組み

将来に向けた新製品、新技術の開発

- ・CASEに対応したプロジェクトチームを新設。
- ・急激に変化する次世代車開発を新たなチャンスと捉え、開発につなげる。

次世代車開発に向けた提案キーワード

冷却

制振

高機能
高品質感

EV向け開発

【採用車種/部品】

日産 ノート/新型セレナ

駆動系部品
(減速機付属)

精密部品
カバーターミナル



日産 リーフ

バッテリー



国内リニューアルプロジェクト進捗状況

YTC（横浜テクニカルセンター）

【グローバル開発拠点を目指す】

- ・ 2018年8月に一時移転先（横浜市保土ヶ谷区）へ移転完了。
- ・ 2022年新テクニカルセンター稼動予定。
- ・ 投資総額：約35億円（2018～2022年度）

真岡工場

【マザー機能を拡充、次世代工場を目指す】

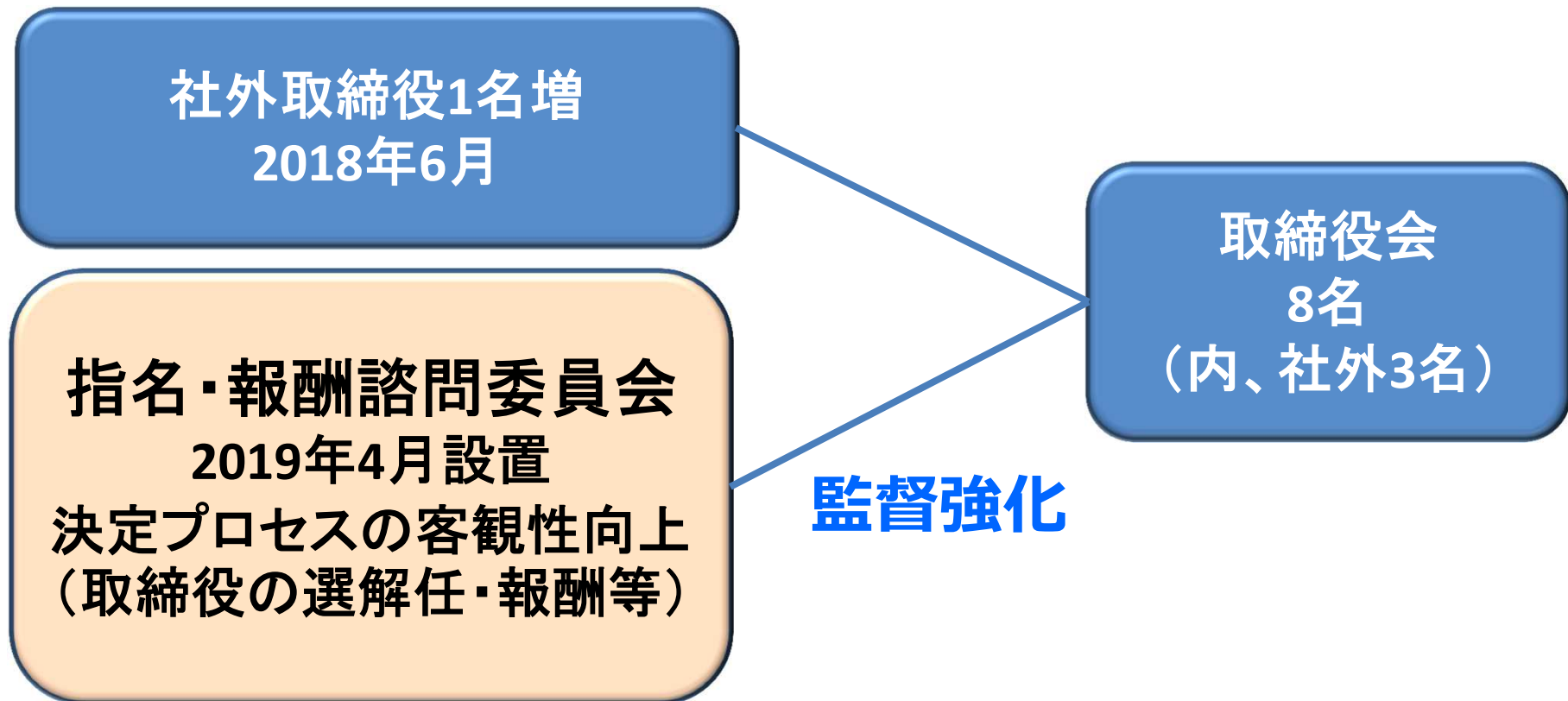
- ・ 2018年現工場隣接地（約33,000㎡）購入。
- ・ 国内生産縮小の環境下で、競争力を高めていくための新工場建設。
- ・ 投資総額：約40億円（2018～2022年度）

【今後の計画】

	2018	2019	2020	2021	2022
Y T C	一時移転先へ移転	旧センター解体工事 CM業者決定	設計開始	工事開始	新センター完成
真岡工場	隣地購入	基本構想／計画立案 設計施工業者選定 一部部門の移転（真岡 General Office始動）	設計開始	工事開始	

ガバナンス強化

監督機能強化に向けた取組み



医療事業の現況と展望

2019年6月6日（木）
（株）パイオラックスメディカルデバイス
代表取締役社長
七海一貴

低侵襲治療

X線透視画像機器を駆使した

Image Guided Therapy

内視鏡を駆使した

Endoscopy Therapy

機
器

カテーテル
ガイドワイヤー
ステント
コイル
バスケット他



低侵襲性

患者の
肉体的苦痛

短期入院

長期入院

手術の
安全性

手術の
安全性

治療コスト
低減

高い
治療コスト

PIOLAX

All Rights Reserved, Copyright © PIOLAX, INC.

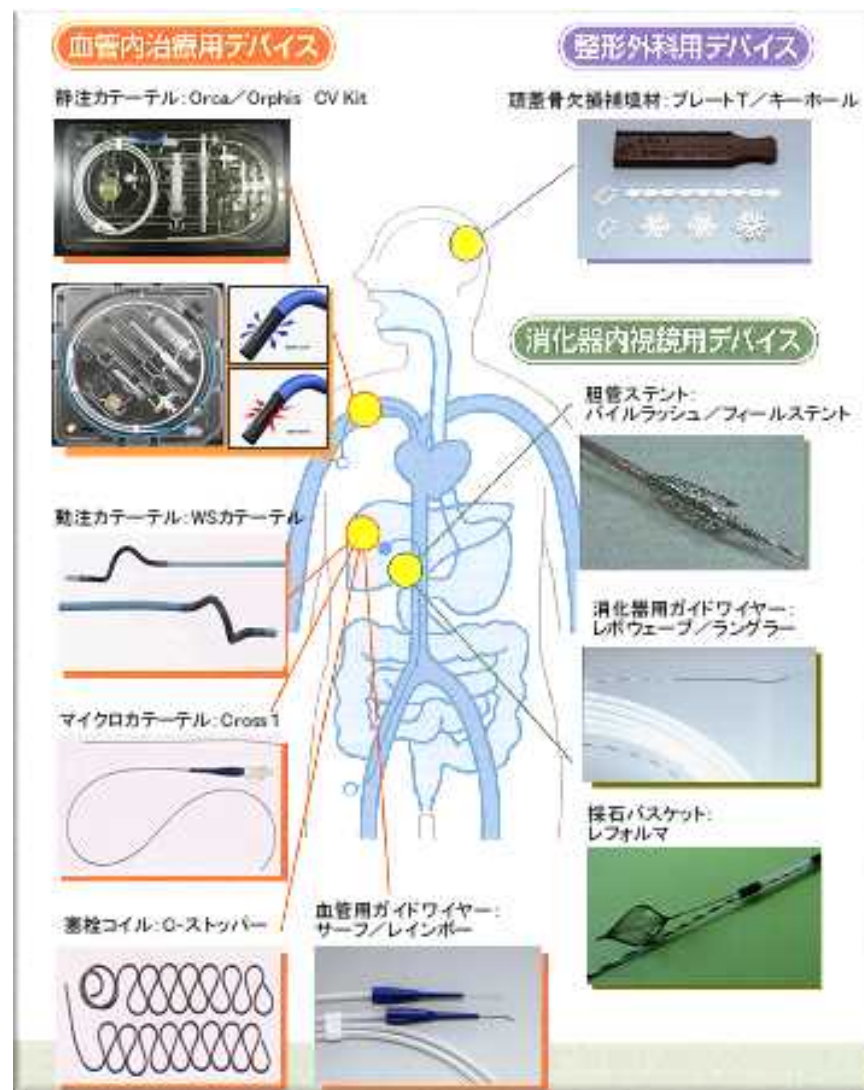
“手技の標準化”を目的に開発した各製品

「血管内治療」 「内視鏡治療」

に使用するための、

- ・ガイドワイヤー
- ・カテーテル
- ・金属及び樹脂ステント
- ・塞栓用Pt.マイクロコイル
- ・金属製 骨プレートほか
の開発

主に“癌治療”に使用



2018年度販売実績及び2019年度予算

(単位:百万円)

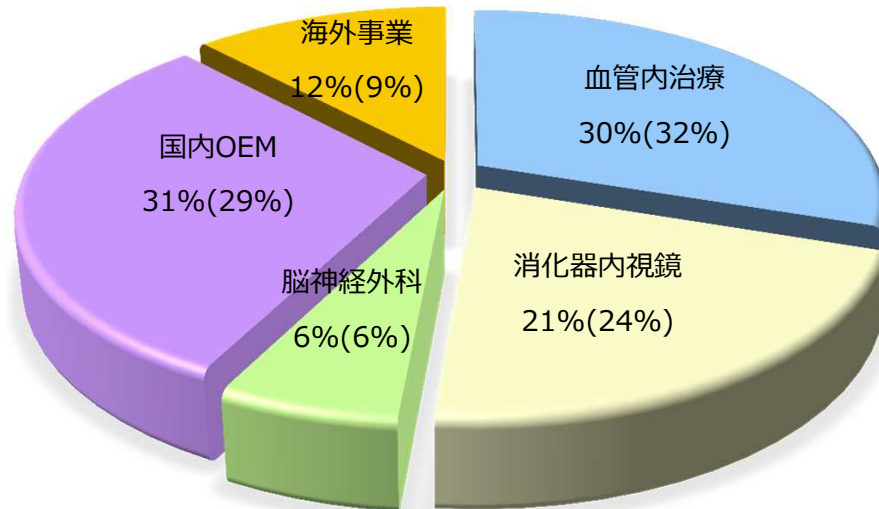
2018年度	予算	実績	達成率
売上高	4,109	4,396	107.0%
営業利益	109	353	326.6%

(単位:百万円)

前年実績	伸長率
4,009	9.7%
158	124.0%

2019年度	予算	伸長率
売上高	4,423	0.6%
営業利益	201	△43.1%

2018年度売上実績構成比率グラフ



※(%)内の数字は2017年度の売上構成比率

〈2018年度 主な増収要因〉

- ◆すべての事業グループで計画を達成(107%)
- ◆ガイドワイヤ関連が好調(+550百万円)
 - ・国内OEM消化器内視鏡ワイヤ売上増
 - ・海外ガイドワイヤ輸出増
 - ・BARDマレーシア向け泌尿器内視鏡用ガイドワイヤ売上増
 - ・米国Merit Medical Systems社向け血管内治療用マイクロガイドワイヤ売上増

〈2019年度 主な増収見込要因〉

- ◆新製品(+110百万円)
 - ・MicroMagic 薬剤生成デバイス: 血管内治療
 - ・BSL-KT(経皮的アプローチ用): 消化器内視鏡治療
- ◆既存品(+175百万円)
 - ・静脈留置CVカテーテル類: 国内OEM
 - ・カスタムメイド人工骨: サージカル(脳外科領域)
 - ・ガイドワイヤ、マイクロカテーテル: 海外輸出

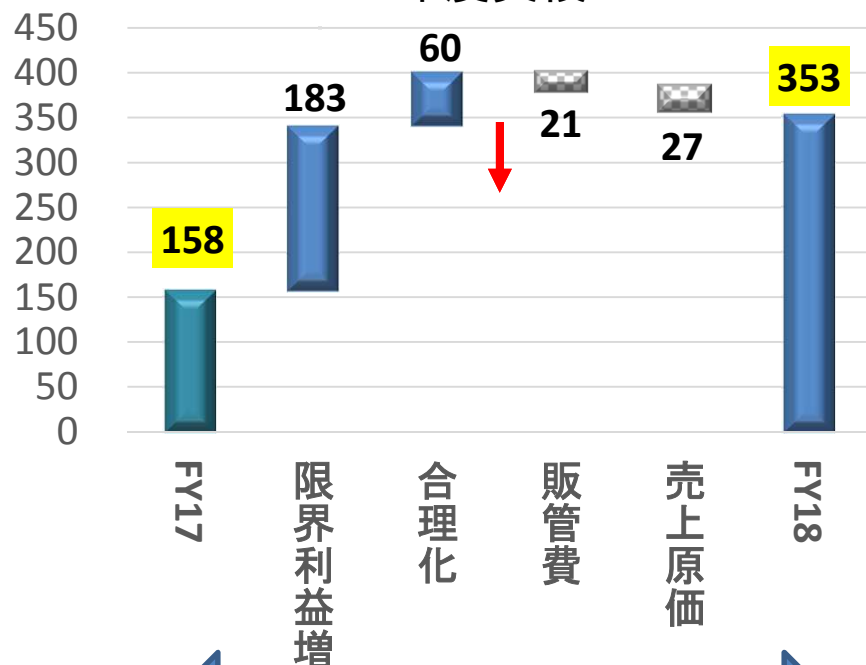
2018年度営業利益増減分析と2019年度予算

- ・2018年度の営業利益実績は353百万円
前年実績対比: +195百万円
- ・実績差+195百万円の内訳は以下の通り
合理化: +60百万円に加え、増収に伴う限界利益増
: +183百万円が大きく寄与

- ・2019年度の営業利益予算は201百万円
前年実績対比: Δ 152百万円
- ・合理化: +76百万円
- ・限界利益: Δ 11百万円
(仕切り価格及び保険償還価格の引き下げ)
- ・販管費: Δ 67百万円(治験コスト等)
- ・売上原価: Δ 150百万円
(労務費増及び前期の在庫増減影響調整等)

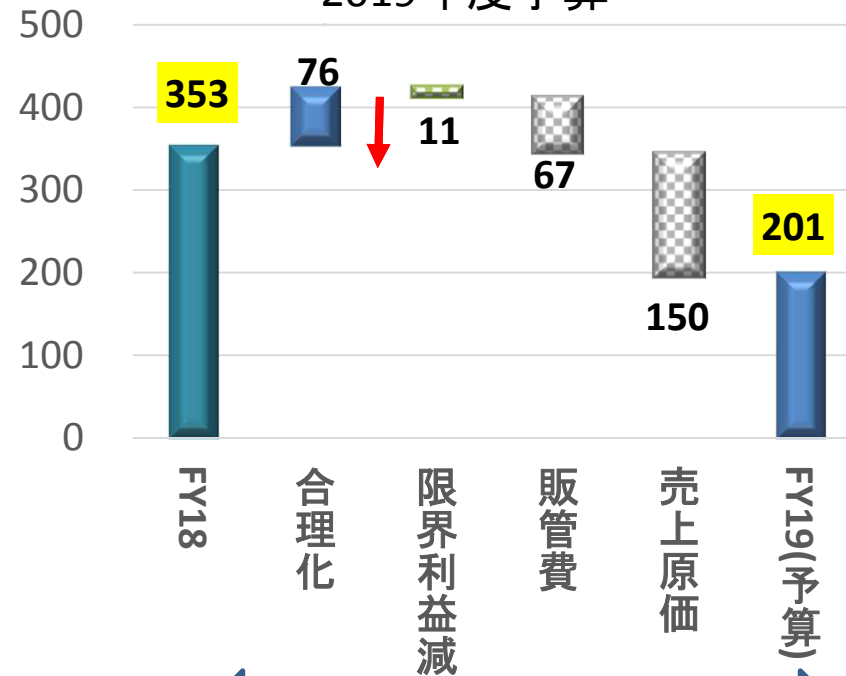
(単位:百万円)

2018年度実績



(単位:百万円)

2019年度予算



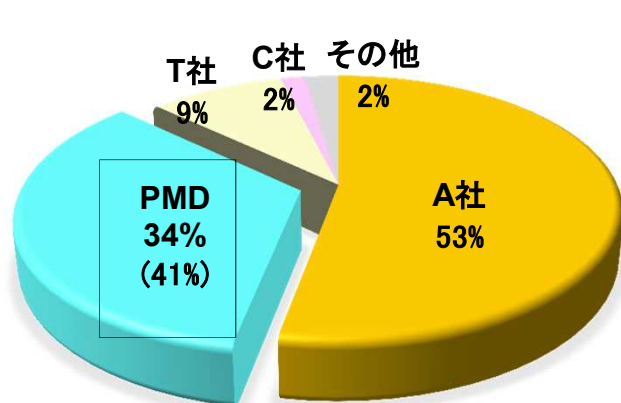
営業増益 +195百万円

営業減 Δ 152百万円

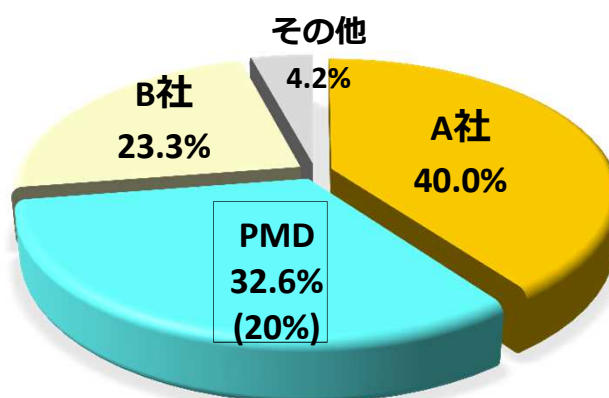
当社の得意分野（各種治療用ガイドワイヤ）

☆各種インターベンション（低侵襲治療）用ガイドワイヤを企画開発

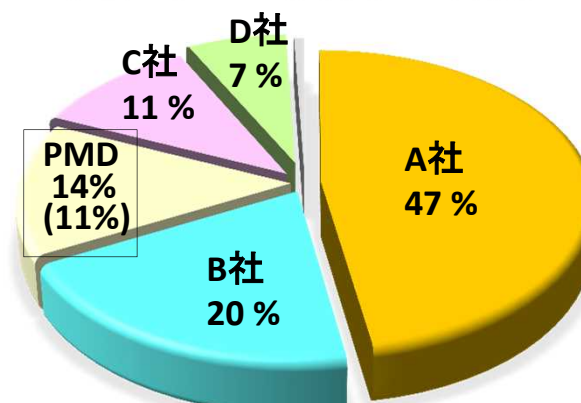
- ・ガイドワイヤのコア線に使用するNi-Ti合金の優れた加工ノウハウを持つ
- ・“親水性コーティング”及び“フッ素樹脂被覆”等の表面処理技術力を持つ



泌尿器内視鏡
GW: 34%
(市場規模: 109,700本)



消化器内視鏡
GW: 32.6%
(市場規模: 334,000本)



血管内(腹部)
GW: 14%
(市場規模: 75,700本)

※(%)内は前年度のシェア率 参考: 2018年度版矢野経済研究所 及び 2017年度版アールアンドディ社データ

《2019年度トピックス》

2019年5月1日付けで、**Olympus America Inc.**と弊社消化器内視鏡ガイドワイヤ“RevoWave”の北米における独占販売契約を締結しました。



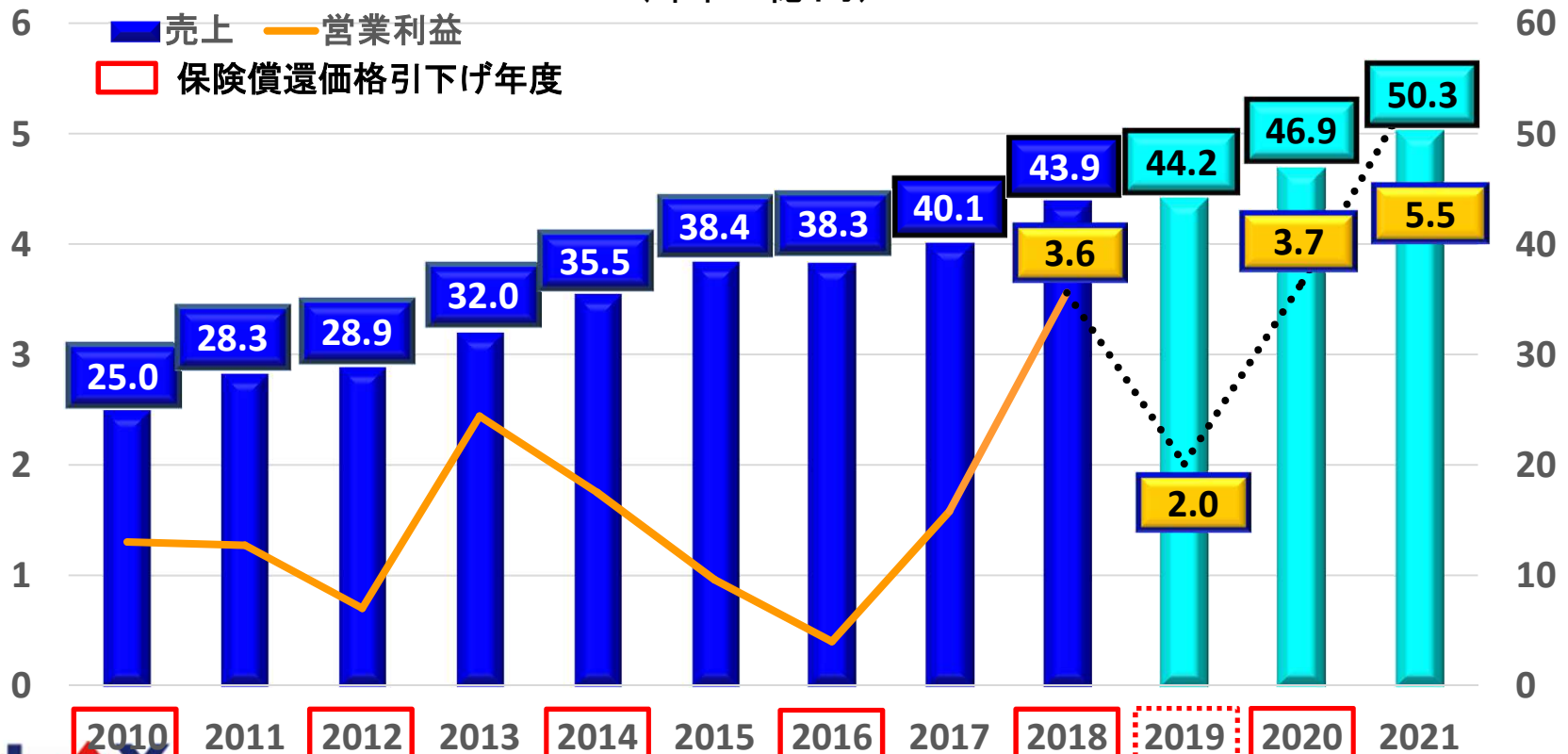
中期計画(2019-2021)

1. 特定市場へ差別化商品の投入(特定市場の差別化戦略)
2. 新商品導入スピードアップと新商品ラインナップ強化
3. 海外への進出強化
4. 国内販売ネットワーク強化

(営業利益)

(単位:億円)

(売上高)



中期計画達成のポイント

《新商品の毎年度投入と販路の拡大》

◆国内展開

- ・胆管用メタリックステント経皮経肝用（2019年度 4月）
- ・薬剤エマルジョン生成デバイス（2019年度 6月）
- ・New Technology 消化器内視鏡用ガイドワイヤ(2020年度 1Q)
- ・New Technology 泌尿器内視鏡用ガイドワイヤ(2021年度 2Q)

◆海外展開

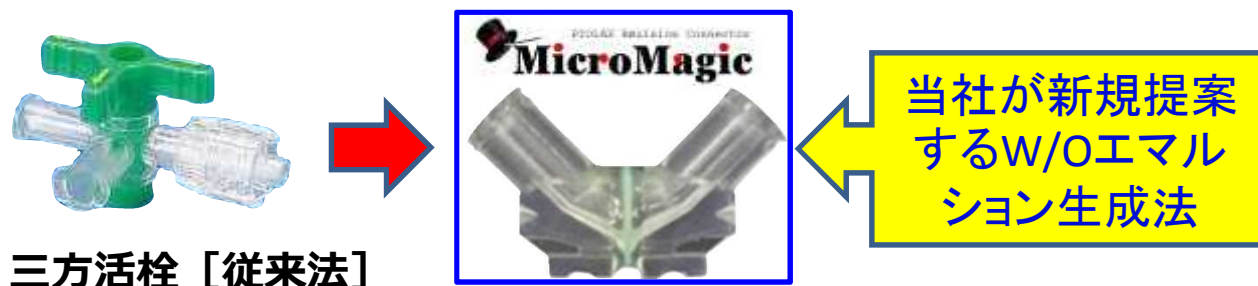
- ・オリンパスアメリカ社向け消化器内視鏡用ガイドワイヤ販売開始（2019年度 5月）
- ・造影能強化型マイクロカテーテル CE マーク取得による欧州・ASEAN域への販売開始予定（2019年度 4Q）
- ・中国市場のマイクロカテーテル&マイクロガイドワイヤ薬事承認取得予定（2019年度 4Q）

◆利益計画の達成

- ・新製品のOn Plan上市と拡販による増収効果
- ・2020年度・2021年度の各年度1億円以上の合理化活動（固定費削減等）

血管内治療 新製品 「MicroMagic」

術者に依存することなく、安定したW/O (Water in Oil) エマルション (乳濁液) を生成出来る薬液混合用コネクタ



抗癌剤は注入直後より分散し、ドレナージ（排液）されてしまう



リピオドール（油）と抗癌剤（水）が綺麗に混ざっておらず、抗癌剤が放出している

抗癌剤を効率よく局所（腫瘍内）にデリバリーすることが可能



リピオドール（油）の中に抗癌剤（水）が綺麗に封入されている

《直近のプロモーション：ランチョンセミナー》

◇第48回日本IVR学会総会
2019年5月30日～6月1日
福岡国際会議場

◇第55回日本肝癌研究会
2019年7月4日・5日
ホテル椿山荘東京

※セミナー開催日5月31日（金） ※セミナー開催日7月4日（木）

PMD VISION



「低侵襲治療」の手技を標準化できる医療機器の提供を通じて、世界の患者様を救える企業を目指します！

～低侵襲医療機器で社会に貢献します～

本資料お取扱い上のご注意

本資料に記載されている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。



參考資料

参考資料① 中期経営計画

(億円)

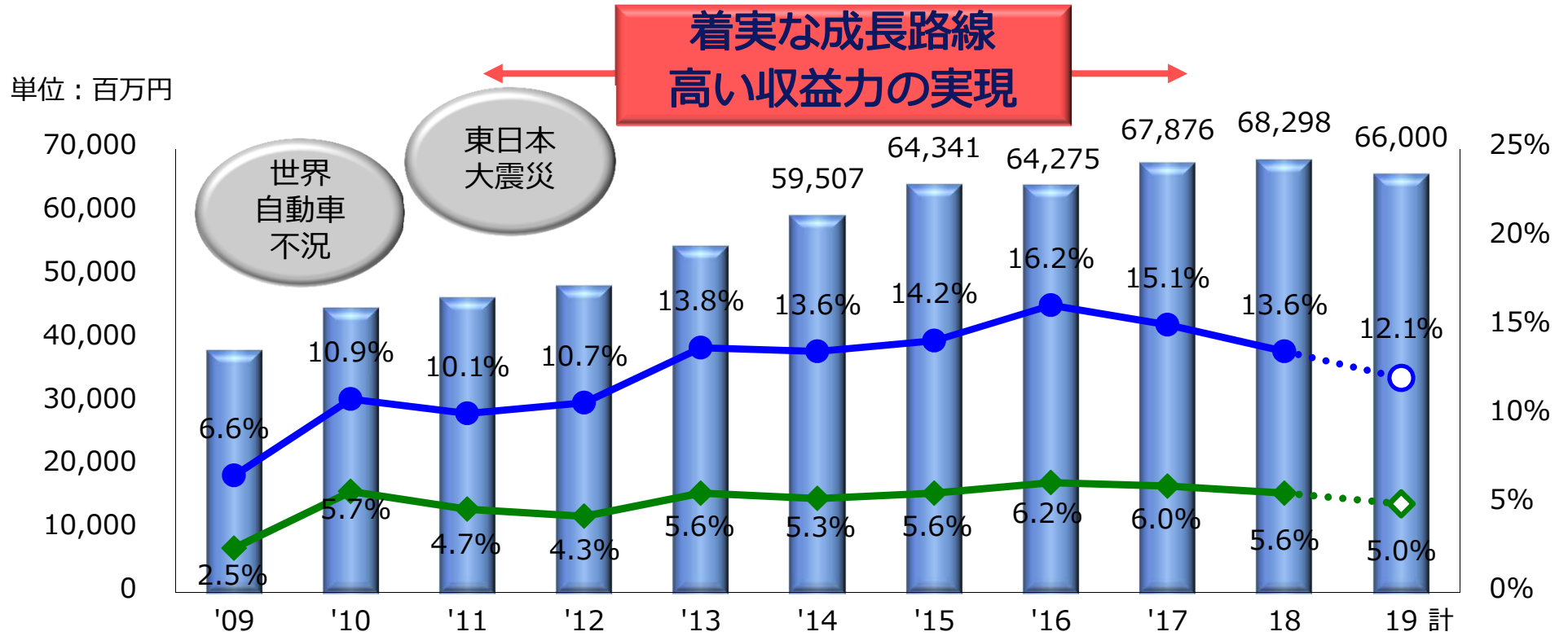
売上高	2018 実績	2019 開示	2020	2021	伸び率 (21/18)	為替調整後 (参考)
連 結	683	660	690	720	+5.4%	+1.1 %
海外子会社	421	428	457	490	+16.3%	+2.0%
国内子会社	111	111	110	111	0.0%	-
単 体	321	305	310	310	-3.4%	-

営業利益	2018 実績	2019 開示	2020	2021	伸び率 (21/18)	為替調整後 (参考)
連 結	93	80	95	110	+18.3%	+0.9 %
海外子会社	44	45	57	67	+52.3%	+1.5%
国内子会社	12	10	10	12	0.0%	-
単 体	28	17	19	20	-28.5%	-

* 連結仕訳(内部取引)が内数にある * 1US\$=105円

参考資料② 連結業績推移

売上高・営業利益率推移（連結）



為替レートUS \$ (円)	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	18	19 計
	93.70	87.23	79.42	80.11	98.06	106.43	121.00	109.54	112.07	110.37	105.00

■ 連結売上高 ● 連結営業利益率 ◆ 自動車部品（上場）122社平均

参考資料③ 海外拠点



(ご参考資料)

前提為替レート

(円)

	2017 平均レート	2018 平均レート	2019 計画前提
米ドル	112.07	110.37	105.00
英ポンド	145.37	146.79	145.00
ウォン	0.0997	0.1002	0.1000
バーツ	3.31	3.41	3.30
人民元	16.63	16.64	16.50
ルピー	1.71	1.59	1.60
ペソ	5.95	5.75	5.80
ルピア	0.0083	0.0077	0.0075